

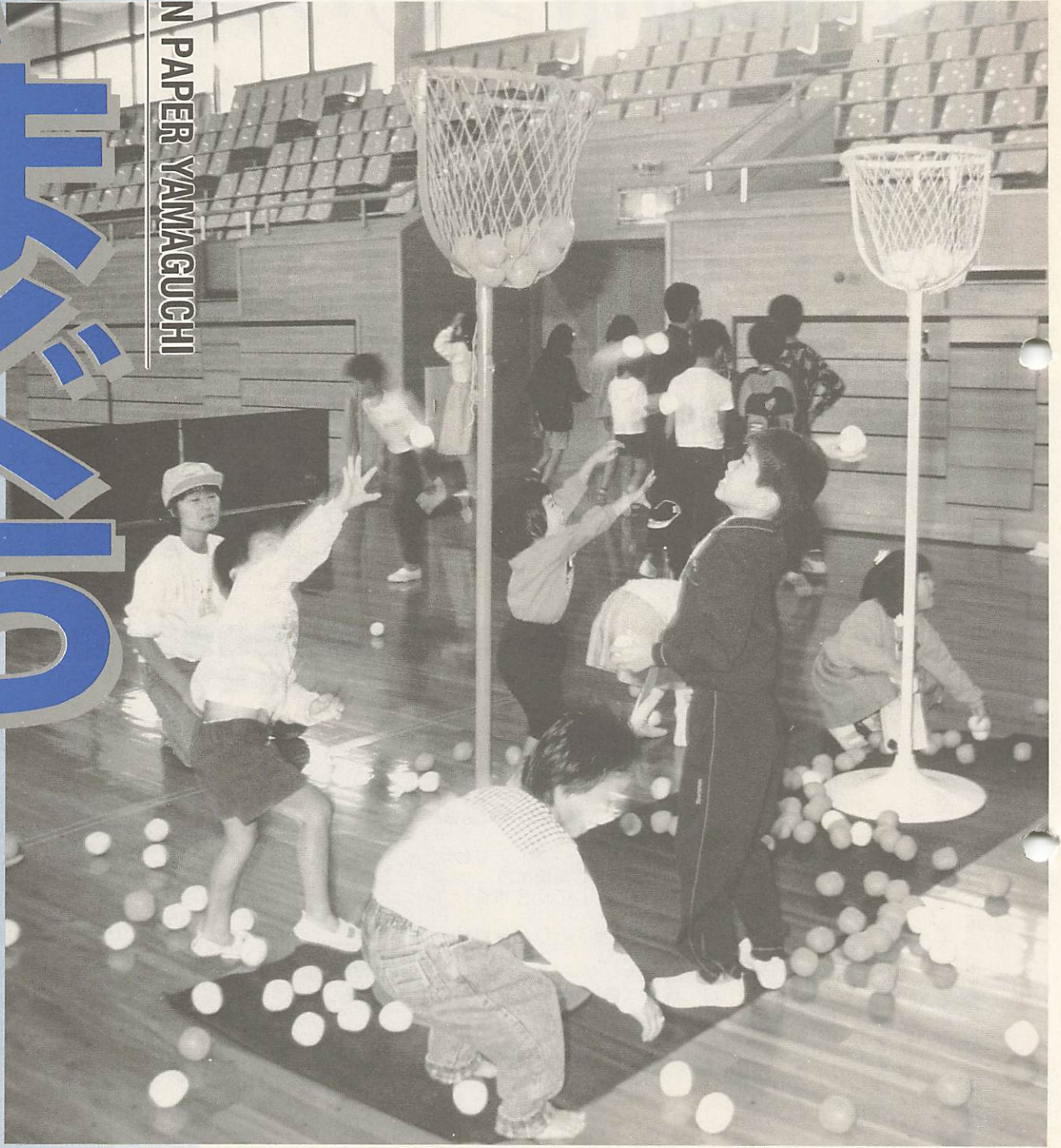
主な内容

- 山口・小郡地域の21世紀都市づくりの展望(試案)
- 平成5年度 山口市表彰
- 山大通りが完成

● 市民憲章 昭和46年9月1日制定

- 1 自然を大切にし、美しい環境を守りましょう。
- 1 スポーツに親しみ、健康なからだをつくりましょう。
- 1 互いに助け合い、生活を豊かにしましょう。
- 1 きまりを尊び、良い風習を育てましょう。
- 1 郷土を知り、文化財の愛護につとめましょう。

●発行/山口市役所 〒753 山口市亀山町2-1 ☎0839(22)4111 ●編集/企画財政部広報広聴課 ●印刷/株式会社マルニ



楽しかったね お父さんお母さん

子供を持つ親にとって、いちばんほっとするのは、子供が一生懸命になって遊んでいる姿を見つめているときではないでしょうか。また、子供は、そんな親の姿をいつも探しているのではないのでしょうか。11月13日、県スポーツ文化センターで「親子ふれあいジャンボリー」が開かれ、大勢の親子連れが参加しました。この「親子ふれあいジャンボリー」は、今年が第1回目。遊びやスポーツを通じて親子がふれあう楽しさいっぱいイベントでした。

12/1
1993年 No. 1113

■再生紙(古紙混入率80%)利用の市報です。

♂	♀	♂	♀	↑
132,752人	132,752人	63,846人	68,906人	49,209人
+1,172人	+1,172人	+556人	+616人	+775人

21世紀都市づくりの展望(試案)

市では、小郡町合併問題研究協議会（会長 宮本研道小郡町長）から求められていた合併後の展望について、山口市の立場から市長試案として作成し、十月二十六日の「第四回山口・小郡合併問題資料検討協議会」で示しました。

今後は、小郡町、関係議会、関係住民、有識者などの意見を踏まえるとともに、合併後の長期財政計画を策定し、この試案と財政計画との整合性を図るなど、計画の実現性の確保を図り、よりよい計画とする必要があります。

この試案を基本として、山口市と小郡町との議論が高まり、合併問題がよりよい方向へ進むことが期待されます。

展望策定の背景

今日、山口市および小郡町が、よりよい地域社会を形成するためにはどうすれば良いのか、あるいはまた、両市町域のみならず、より広範囲にわたって高次の都市サービスを提供する中核都市づくりはどうすべきかの関心が高まっています。

また、そのための手段として、両市町が合併した場合、本地域がどのような姿になるのか、また、すべきかについて長期的、大局的な観点から地域の展望づくりが求めら

れています。

山口・小郡地域の目指す都市イメージ

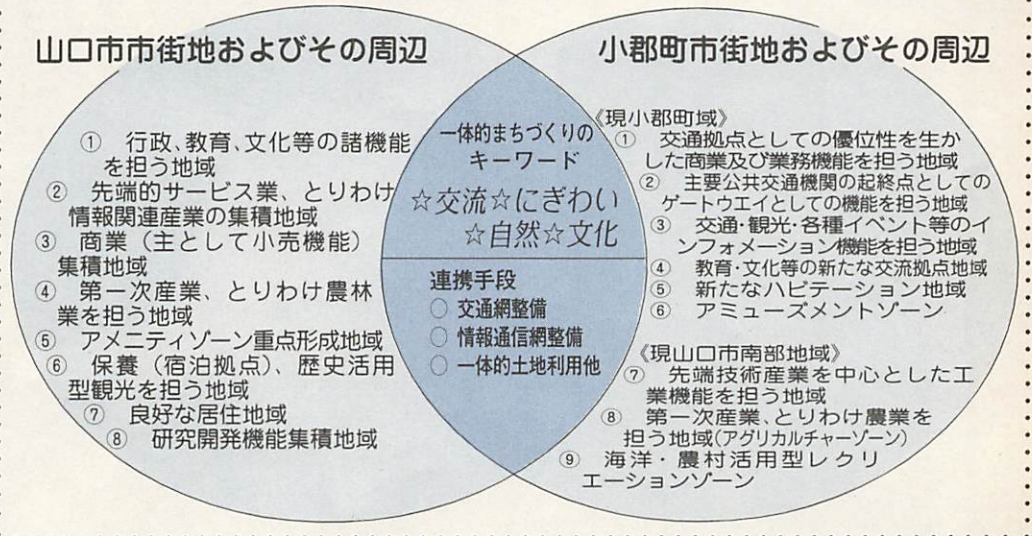
まちづくりの基本は、住民一人ひとりが生きている実感が持て、満足のできる日常生活を送れるような都市を創造することにあります。

また、近年の所得水準の向上を背景として、ライフスタイルの多様化、生活水準の高度化に対応し、様々なニーズを受け入れる洗練された魅力のある都市が必要となつていきます。

山口・小郡地域のキーワード

図-1 双眼型都市構想概念図

山口・小郡地域

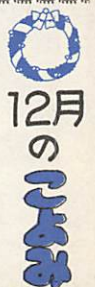


ドとなるのは、「交流」、「にぎわい」、「自然」、「文化」などであり、これを基調としてまちづくりを進めることが必要です。

こうしたキーワードを踏まえて、目指す都市を想定した場合、

- 「人」、「もの」、「情報」な
- 「樫野川を軸とした自然環境保全の都市
- 「地域住民、とりわけ次代を担う若者にとって、「やさらぎ」、「にぎわい」、「ときめき」ある都市
- 「樫野川を軸とした自然環境保全の都市

どが活発化する中で、地域特性を生かした交流活動の拠点となる都市



- 1日 平成6年度保育園入園申請書の受付（市児童家庭課）3日
- 5日 第44回山口県中学校駅伝競走大会（付属中学校）防府天満宮 ▽山口県障害者希望芸術文化展（県社会福祉会館）10日
- 10日 高齢者料理教室（保健センター）▽年末年始の交通事故防止運動（11平成6年1月3日）
- 12日 第8回地区対抗男子バレーボール大会（県体育館・スポーツ文化センター）▽第19回家庭婦人バレーボール大会（スポーツ文化センター）
- 16日 一歳六か月児の健康診査（保健センター）
- 18日 山口女子大学演劇部冬公演「悪魔のいるクリスマス」(県視聴覚センター）19日
- 19日 ムーンライト・クリスマス（県政資料館）
- 22日 市民無料法律・行政相談（白石公民館）
- 23日 秋山仁先生講演会（山口県教育会館）▽山口大学管弦楽団第36回定期演奏会（市民会館大ホール）
- 24日 世界の民話を聞く会（児童文化センター）

山口市・小郡町の合併問題に関する経緯(平成5年)

5月7日 小郡町合併問題研究協議会（会長 宮本町長）から山口市長に対し、山口市の将来ビジョン及び行財政等追加資料の提供並びに協議の場の設定の申し入れ。
 5月10日 要請に対し、市長名で受諾の回答をするとともに、小郡町に対しても、将来ビジョン等の資料提供の要請を行う。「山口市合併検討協議会」設置。
 5月14日 「市議会全員協議会」を開催。「山口市合併検討協議会」の設置について説明。
 6月8日 「山口市合併検討協議会」初会合。
 6月15日 「第1回山口・小郡合併問題資料検討協議会」。両市町の委員紹介、協議会の運営等について協議。
 8月10日 「山口市合併検討協議会」市の行財政諸資料を小郡町に提供するに当たっての協議。
 8月19日 「第2回山口・小郡合併問題資料検討協議会」。山口市から小郡町に対して、山口市の行財政諸資料の提供並びに説明のほか、第四次山口市総合計画の広域行政に関する記述について説明。これに対し、小郡町町委員から合併後のビジョンが必要との意見が出される。また、両市町の協議の場の名称を「山口・小郡合併問題資料検討協議会」に決定。
 9月2日 「山口市合併検討協議会」第四次山口市総合計画における計画編が平成6年度で期間満了になるため、山口市で補足資料を作成し説明。また、8月19日の小郡町側の合併後のビジョンが必要とする発言を受け、これの対応策について協議。
 9月27日 小郡町合併問題研究協議会から市長あてに合併後のビジョンについての追加資料の要請。
 10月5日 「山口市合併検討協議会」9月27日の要請について、対応策の協議。結論として、小郡町の要請に応え可能な限り努力すること、意志統一する。
 10月5日 「第3回山口・小郡合併問題資料検討協議会」。両市町の長期計画について、相互説明を行う。また、9月27日の小郡町合併問題研究協議会からの要請について、小郡町の要請に応え可能な限り努力する旨を回答。
 10月25日 「山口市合併検討協議会」小郡町からの要請のあった合併後のビジョン「山口・小郡地域の21世紀都市づくりの展望（試案）」を山口市の立場から作成。この展望を小郡町側へ示すことについての事前協議。市長試案として小郡町側へ示すことで合意。
 また、「山口市合併検討協議会」として、独自の調査研究もすることとなる。
 10月26日 「第4回山口・小郡合併問題資料検討協議会」。「山口・小郡地域の21世紀都市づくりの展望（試案）」を、山口市から小郡町へ説明する。
 11月2日 「山口市合併検討協議会」「山口・小郡地域の21世紀都市づくりの展望（試案）」について、再協議。全員協議会で改めて説明することとなった。
 11月22日 「山口市合併検討協議会」。山口市独自の調査研究事項について協議等。
 11月29日 「市議会全員協議会」。「山口・小郡地域の21世紀都市づくりの展望（試案）」についての説明等。

山口・小郡地域の

○地域文化の発信をする都市のようなイメージが設定できます。

21世紀初頭は人口20万人を想定

魅力にあふれる中核都市づくりを進めるためには、一定規模の人口を集積する必要があります。とりわけ、一定規模の人口集積があると、自律的に都市機能が集積し、関係住民が都市的サービスを楽しむこととなります。

これまでの山口・小郡地域の人口集積傾向および一体的なまちづくりを進めれば、二十一世紀初頭には少なくとも人口二十万人が想定されます。（平成二年現在人口十五万一千二百三十三人、国勢調査による）

双眼型都市構想の推進に向けて

山口・小郡地域が一体となつて魅力のある中核都市として限らない発展をするためには、重層的で柔軟かつ弾力的な都市づくりを進める必要があります。

一体的なまちづくりを進める場合、現在の社会的・経済的・地理的特性を十分生かして、山口市の中心市街地およびその周辺部、小郡町の中心市街地および周辺部（山口市の南部地域を含む）を核とした概ね二つの地域における都市機能分担並びに都市機能連携軸づくりを進めることが現実的と思われれます。

中核都市づくりの推進方策

- コンベンション都市づくりの推進
- 高度情報都市づくりの推進
- 都市づくりの推進
- 積都市づくりの推進
- 多彩な産業の振興
- 教育・文化の振興
- リエーションの振興
- 交通基盤の整備
- 業務拠点集積
- 先端技術産業等
- 魅力のある商業
- 薫り高い
- スポーツ・レクリエーション
- 良好な居住環境

形成を推進することによって、全国的にも希有な特色のある中核都市の実現が可能と考えられます。双眼型の都市における都市機能分担、あるべき役割を概念化すると、図-1のようにイメージできます。



△10月21日、株式会社中電工からサービス事業の一環として、交通安全に役立ててと横断旗400本が寄贈されました。この横断旗は、市内の各小学校と大殿中学校のPTAにそれぞれ配布され、児童・生徒の交通事故防止に役立てられます。

▽10月19日、中国電力山口支店から市営バスのバス停につける案内標識板が寄贈されました。この案内板は、建設省・運輸省認可のバス停留所標識A型（電照式）5本、標識B型（非電照式）130本で、電照式は、小郡駅に3本、センタービルに1本、日赤前に1本、それぞれ設置される予定です。



△地元の教育振興に役立ててほしいと、11月8日、吉南信用金庫嘉川支店（石川静男支店長）から市に、30万円が寄付されました。この寄付は、平成2年から毎年続いており、嘉川小、興進小、川西中の視聴覚機器や図書などの備品購入費に充てられます。

善意の寄付・寄贈 ありがとうございました

30人・9団体が受賞



平成5年度 山口市表彰

11月17日、市民会館小ホールで、平成5年度市表彰受賞者の表彰式が行われました。様々な分野で功績のあった三十人九団体の方々に、表彰状や感謝状が贈られました。

受賞された方々は、次のとおりです。

自治功労者

(敬称略)

乗原 脩(六九・吉敷・市協力委員十年)
山本 巖(七四・秋穂二島・市農業委員会委員二十四年)
故勝谷 晃(三三の宮・市議会議員二十一年)
山田 玲子(六一・黄金町・統計調査員二十年)
池田 幸人(六六・小鯖・小鯖自治会会長十年)

芸術文化功労者

竹田 八重子(七二・泉都町・山口文化協会理事二十四年・五十年にわたり日本舞踊の継承発展に尽力)

社会事業功労者

中司 直行(六〇・湯田・民生・児童委員十五年)
鰐石 一男(六八・小鯖・保護司二十年)

社会教育功労者

宇佐川 章子(六五・宮野・宮野自治会婦人部会長十年)
小野 祐治(六〇・小鯖・小鯖地区青少年育成協議会会長・副会長、市青少年指導員など十八年)

体育事業功労者

徳光 輝男(六二・平川・平川生活体育振興会会長十五年)

交通安全功労者

武波 貞義(七五・大歳・山口交通安全協会大歳分会会長三十一年)

公益事業功労者

袖岡 里見(七二・仁保・むらづくり団体大富をよくする会会長十年)

産業功労者

藤原 朝則(六七・秋穂二島・市二島土地改良区理事長十五年)
池田 保夫(七六・仁保・仁保特別林野区林野委員二十二年)

社会事業功労者

港 貞夫(六五・仁保・仁保特別林野区林野委員十六年)
柴崎 浩(七四・小鯖・小鯖特別林野区林野委員三十年)

社会事業功労者

柴崎 榮治(七三・小鯖・小鯖特別林野区林野委員十八年)
小田 一正(六八・吉敷・吉敷特別林野区林野委員十八年)

篤行者

故田中 忠(大内) 二十九年にわたり、ゴミ、空き缶の収集など清掃美化活動を続けられました。

人命救助者

野村 権市(八八・東山) 十年にわたり、樫野川の土手の草刈りや空き缶ひろいなどの清掃美化活動を続けられました。

優良団体

美しい環境づくりの会(仁保・会長沖原利夫) 十八年にわたり、河川の生活排水処理など、地区内の美化活動に積極的に取り組まれました。

優良団体

みずの会(吉敷・会長水上和代) 十九年にわたり、視覚障害者に対する福祉活動を続けられました。

入浴サービス会(吉敷・会長藤田テル子) 在宅入浴希望者宅で入浴や理髪のボランティア活動を続けられました。

さつきの会(大内・会長佐田トシ子) 十二年にわたって福祉施設を訪問し、ボランティア活動を続けられました。

麻の葉会(大手町・山口県ボランティアセンター内)

十二年にわたり、県ボランティア振興財団、市社会福祉協議会に寄付が続けられました。

私立中村女子高等学校(駅通り・校長五十部益一) 十年間にわたり、奉仕活動への参加などを通じて福祉教育を推進されました。

寄付功労者

美穂 篤(三四・栃木県) 文化福祉施設などとして土地・建物(一億七千五百一十五千円相当)を寄付されました。

岡本 薫(四六・大内) 大内南小学校開校にあたり、百万円を寄付されました。

大内南小学校開校にあたり、樹木(百万円相当)を寄付されました。

川元 春雄(六二・赤妻町) 佐山小学校に五十万円を寄付されました。

統計功労者表彰

各種の統計調査に従事され、多くの功績を残された方々です。10月27日の山口県統計大会で表彰されました。(敬称略)

総務庁長官表彰

岩山綱代(湯田・小売物価統計調査)
中村英子(平川・家計調査)

付されました。矢儀 キミコ(七五・嘉川) 川西中学校に校旗(八十万円相当)を寄付されました。

内田 伸(七一・鑄銭司) 鑄銭司郷土館に展示用資料として通貨を多数寄付されました。

本永 芳貞(六五・三の宮) 市芸術文化振興基金として百万円を寄付されました。

山陽コカ・コーラボトリング株式会社(代表取締役社長 齊藤晴夫・広島県) 市環境保全基金として五百万円を寄付されました。

株式会社オコボ(代表取締役社長 大久保厚二・島根県) 社会福祉事業としてあんま器七台を寄付されました。

株式会社文榮堂(代表取締役 新山文子・道場門前) 市学校教育課、市立の小・中学校にファクシミリ三十台を寄付されました。

全国統計協会連合会会長表彰

田坂和子(折本・統計功労者)

山口県統計協会会長表彰

徳本時枝(小鯖・統計功労者)
長田恵美子(吉敷・統計功労者)
伊藤恵美子(鑄銭司・統計功労者)

完成が

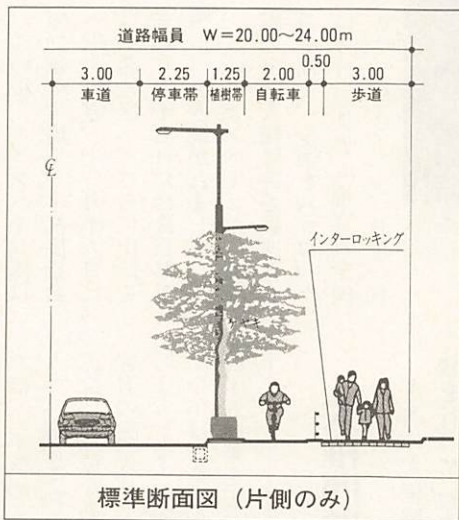


人と車の いい関係

平川地区は、昭和四十三年の山口大学の移転を契機に、市内でも最も急激な人口増加地域となり、山大通りも近年になって一日一万三千台の車やバイク、自転車で混雑し、日常生活にも支障を来すようになりました。

県は、昭和六十一年度、「ゆとり」と「うるおい」のある道路空間の整備を目標に

平川地区と湯田温泉を結ぶ都市計画道路泉町平川線のうち、山口大学前から樫野川までの880m区間（通称山大通り）の拡幅工事がこのほど完成、交通混雑の解消、歩行者の安全確保はもとより、地域のコミュニティ、まちづくりにも大きく貢献するものと期待されています。



山大通りの拡幅工事に着手、七年の歳月と、約二十五億円のコストをかけて完成させました。

●車道部 車道の外側の停車帯や、交差点の右折レーン増設で車のスムーズな通行に配慮しています。

●歩道部 歩行者、自転車の



山大通り竣工

地域みんなで祝賀パレード

安全な通行のために幅広くとってあり、ペーじユ色のインターロッキングを敷き、明るいイメージになりました。

●自転車通行帯 特

多い自転車の安全対策に専用レーンを設置、舗装は透水性舗装を使用しています。

大学生と地域住民の ふれあいのシンボルロードに

十一月八日行われた竣工式で、佐内市長は「若者のあふれる魅力的な都市づくり

を推進している山口市にとって、その存在意義は大きく、山大通りが大学生や地域の方々のふれあいの場となるよう願っています」と挨拶しました。

●街かど広場 大学正門の対面に設置。クスノキの巨木を中心に自然石を配置、テーブルやベンチも置かれ、学生や地域住民のコミュニティ空間として大いに利用され、山大通りの名所となるよう期待されています。



街かど広場

学生さんたちの 顔にゆとりが



平川地区
台町内会長
荒瀬剛一さん

今までは、横断のための信号機もなく事故の多い通りでした。山大通りももちろん西京高校の学生さんの利用も多く、整備されたおかげで、学生さんたちの顔をみてもゆとりが感じられるようになりました。町内会では月一回、山大通りの空き缶拾いなど環境美化運動を続けています。

これから、大学とも話し合っって山大通りでイベントを開くなど、大学生と地域の人をつなぐ道として、まちづくりにいかしたいものです。

学生さんたちの声

医学部二年 田中温子さん

出身の長崎は坂道が多いのですが、山口では自転車でもどこにも行けとても便利。山大通りはきれいになってとても雰囲気よくなりました。

工学部一年 小田原正和さん

見た目もきれいになったし、夜通ることも多いので明るくなって助かっています。イベントなんかに使っても面白いかもしれません。

山大通り景観調査報告デザイン展



自転車専用レーンがあり、人をぬって走らなくていいので楽になりました。公園にも行ったことがあります。

農学部三年 溝尻貴裕さん

医学部一年 下袴田陽子さん
加藤千鈴さん 沖川佳子さん
広がって車でもとても走りやすくなりました。樫野川から湯田温泉の間もきれいになるといいですね。

山口大学教育学部美術教育講座の福田隆真助教とデザイン受講学生八人によって、山大通りの写真やイラスト、また景観アンケート調査の結果をまとめたものを展示します。

●期間
12月6日(月)～10日(金)
午前8時半～午後5時

●場所
市役所市民ホール

世界人権宣言45周年

人権擁護訴えるメッセージ伝達

世界人権宣言の採択から四十五周年を迎えた記念キャンペーンの一つとして、国連事務総長の人権擁護を訴えたメッセージの伝達式が十一月十五日、市役所の玄関前で行われました。

この式には、県内でのキャンペーン隊を構成する県人権擁護委員や地方事務局職員など約五十人が参加、ブトロス・ガリー国連事務総長からのメッセージを佐内市長に伝達した後、市長が署名旗にサ

インして、内富俊隆・県人権擁護委員連合会長に手渡ししました。

この後、キャンペーン隊は阿知須町役場で、宇部協議会へ引き継ぎ、十一月十六日には下関地区へ、さらに山陰をまわり、十七日には島根県益田市へ引き継がれました。

このキャンペーンは、法務省と全国人権擁護委員連合会の主催で、全国を八ブロックに分けて世界人権宣言全国キャンペーン(十一月十一日

十二月十日)の一環として行われたものです。

今年の人権問題の主なテーマは、「子供の人権を考えよう」、「部落差別をなくそう」、「女性の地位を高めよう」、「障害者の完全参加と平等を実現しよう」などです。

今年、特に世界人権宣言四十五周年を記念して「国際

化時代にふさわしい人権意識を育てよう」を主要テーマにしています。

世界人権宣言は、第二次世界大戦の反省から、世界の恒久平和の達成のためには人権保障が不可欠であるとして、昭和二十三年十二月十日に国際連合の第三回総会で採択されたものです。

十二月九日(火)には、山口市陶隣保館で、午前十時から午後三時まで、特設「人権相談所」が開設されます。お気軽にご来場ください。

人権問題の相談は人権擁護委員へ

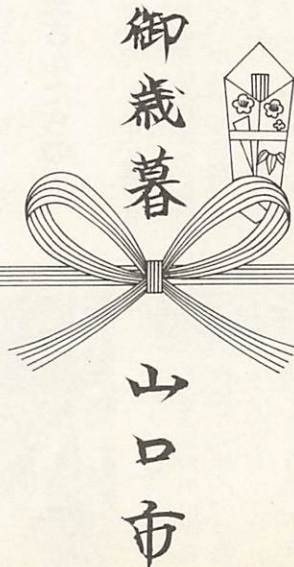
市内の人権擁護委員の自宅では、年間を通じて人権相談を行っています。人権擁護委員は左表の方々です。人権問題について悩みごとなどありましたらご相談ください。



署名旗を佐内市長から受け取る内富会長

氏名	住所	電話番号
塚田 宏之	後河原1	②47276
大野 英雄	朝田1030-13	②52145
末永 汎本	糸米1丁目3-31	②42562
内田 廣	鑄銭司1895	⑧62559
松浦 一則	吉敷2137	②25426
西村 良郎	佐山1817	⑧93197
重宗 律子	上小鯖159-3	②70625
伊藤 美代子	仁保下郷186	②91303
三原 幸一	大内御堀2143-30	②55448
古川 綾子	赤妻町4-27	②28368

お歳暮の季節です。まごころと一緒にごみも贈っていませんか。「過剰包装自粛協力店制度」にご協力を。

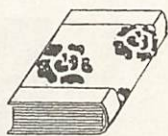


市では、昨年度から「過剰包装自粛協力店制度」を実施しています。皆さんも、箱物などへの包装はできるだけ省いて、簡易なものに心がけてください。協力店にはステッカーが貼ってあります。

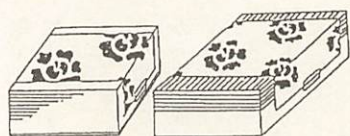
贈っても 贈られても



一部掛包装



帯封包装



天掛(フタ掛)包装

簡易包装は 緑の資源を守るためです。

第8回山口市地区対抗男子 バレーボール大会

- 日時 12月12日(日)開会式午前8時30分、競技開始午前9時
- 場所 県スポーツ文化センター、県体育館
- 参加資格 同一地区に在住している者で構成するチーム(学生は除く)
- チーム編成 人数は、監督1人、コーチ1人、マネージャー1人、選手15人以内
- 参加料 無料
- 申し込み 12月6日(月)までに、所定の申込書で市教育委員会体育課(☎22-4111)へ
- ※監督者会議を12月8日(水)午後2時から市役所第8会議室で開催。

第19回山口市家庭婦人 バレーボール大会

- 日時 12月12日(日)開会式午前8時30分、競技開始午前9時
- 場所 県スポーツ文化センター
- 対象 市内に在住する既婚の家庭婦人および35歳以上(12月11日現在)の独身女性
- チーム編成 地区またはグループなど編成自由。人数は、監督1人、コーチ1人、マネージャー1人、選手15人以内
- 参加料 1チーム 1,000円
- 申し込み 12月6日(月)までに、所定の申込書で市教育委員会体育課(☎22-4111)へ
- ※監督者会議を12月8日(水)午後3時から市役所第8会議室で開催。

自衛隊生徒

- 受付期間 平成6年1月4日まで
- 第1次試験
 - ・期日 平成6年1月6日(木)
 - ・場所 航空自衛隊防府南基地
- 問い合わせ 市役所市民課(☎22-4111)または、自衛隊山口募集案内所(☎25-8231)へ

山口市合同短歌大会

- 日時 平成6年2月11日(金・祝日)午後1時~4時30分
- 場所 山口県婦人教育文化会館
- 参加資格 市内に在住または勤務している人、市内の短歌グループの所属者
- 作品 1人1首(雑詠、未発表作品)、住所・氏名・電話番号を明記
- 会費 1,000円(作品とともに、小為替を同封するか、現金書留で送付のこと)
- 作品の送付先 平成6年1月10日(必着)までに、山口県婦人教育文化会館内短歌大会係(湯田温泉五丁目1-1☎22-2792)へ

冬休み絵画教室

○対象・定員・日時

対象学年	定員	日 時		
		月 日	曜日	時間
小学校1年生	30人	12月26日	日	9:30 12:00
小学校2年生	30人	12月26日	日	13:30 16:00

- 場所 市児童文化センター
- 材料費 100円
- 指導者 <1年生> 亀山滯子先生 <2年生> 田島穂子先生
- 申し込み 12月4日~8日(月曜を除く)の間に、市児童文化センターの所定の申込書で直接同センター(☎22-4285)へ

親子で作る「たこづくり教室」

- 期日 12月25日(土)
- 時間 午前10時~正午
- 場所 市児童文化センター
- 対象 市内の小学生、中学生とその保護者
- 募集人員 30組(先着順)
- 材料費 400円
- 申し込み 12月10日(金)から(月曜を除く)、市児童文化センター(☎22-4285)へ

「わが家の家計簿・生活設計」 体 験 談

- 募集期間 12月1日~平成6年2月末日
- 内容 家計簿をつけた体験・生活設計を立てた経験。いずれかの体験談であれば、内容は自由
- 原稿 2,000字(400字詰原稿用紙5枚)以内。住所、氏名(ふりがな)、職業、年齢、電話番号、家族構成、記帳年数を明記
- 送付先・問い合わせ 山口県貯蓄推進委員会(滝町1-1山口県県民生活課内☎33-2608)へ

身体障害者を対象とした 山口県職員採用選考

- 受付期間 12月17日(金)まで
- 選考職種・採用予定人員 事務・1人程度
- 受験資格 自力により通勤ができ、介護者なしに職務の遂行が可能なる者で、次のすべての要件を満たす者
 - ①身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1級から4級までの者
 - ②昭和39年4月2日から昭和51年4月1日までに生まれた者
 - ③山口県内に住所を有する者
 - ④活字印刷文による出題に対応できる者
- 選考の期日・場所 <1次> 平成6年1月10日(月)・県庁1階視聴覚室、<2次> 平成6年2月上旬
- 受験申込書の請求 はがきまたは電話で、山口県人事委員会事務局(滝町1-1☎33-4474)に請求してください。はがきで請求する場合は、「身体障害者採用選考受験申込書請求」と明記の上、送付先、郵便番号、電話番号を記入してください。なお、受験申込書は、県庁受付および県内の県税事務所にもあります。

編集後記

▽山大通りが大変きれいになりました。道路は、一昔前までは人や車が通ればよいといったものですが、最近では街並みを形成する中心的な空間として位置付けられ、人とひとのふれあいの場としての機能が重要視されるようになりました。いつまでも気持ちよく利用できるような心がけたいものです。

▽一年がたつのは早いもので、今年も残すところ一か月になりました。新年を迎える準備は早めにおきましょう。

もう手続きは済みましたか 児童手当

一人目の子供から支給されます

☆児童手当を受けられる人
三歳未満の児童を養育し、前年の所得が一定額未満の人。

☆支給金額(月額)
・第一子 五千元
・第二子 五千元
・第三子以降 一万円

☆支給方法
二月、六月、十月の中旬に、前月分までの児童手当(四か月分)が、手続きの際に申請された口座に振り込まれます。

◎こんなときには早めに手続きをしましょう
・初めて児童手当を受けようとするとき
・現在、児童手当を受けている人で、養育する児童が増えたとき、または児童が少なくなったとき
・他の市町村から転入したとき、または転出したとき
・児童を養育する人が変わったとき

・児童手当を受けている人が、公務員になったとき
・特例給付の受給者が退職したとき

※児童手当の支給は、請求された月の翌月分からとなりますので、早めに手続きをしてください。

手続き、届け出は、市児童家庭課または各出張所で行ってください。(ただし、公務員の方は勤務先で行います)

■問い合わせ 市児童家庭課(☎22-4111)へ

健康コーナー

1歳6か月児の健康診査

- 期日・対象地区 12月16日(木)大蔵、白石、湯田、宮野、吉敷、大蔵、平川、大内、小鯖、仁保
- 受付時間 午後1時～2時
- 場所 市保健センター
- 対象 平成4年6月生まれの幼児
- 料金 無料(母子健康手帳と12月中旬頃送付する健診票をご持参ください)
- ※嘉川・佐山・名田島・秋穂二島・陶・鑄銭司地区は、平成6年1月25日(火)に山口南総合センターで行います。

3歳児の健康診査

- 期日・対象地区 12月15日(水)湯田、吉敷、平川、大蔵、22日(木)大蔵、白石、仁保、小鯖、大内、宮野
- 受付時間 午後1時～2時
- 場所 山口環境保健所
- 対象 平成2年12月生まれの幼児と過去未受診者
- 料金 無料(受診者は、母子健康手帳と事前に送付した健診票をご持参ください)
- ※当日、検尿がありますので、取りにくい方は取ってきてください。

難病講演会

- 日時・場所 12月16日(木)午後1時30分～3時・山口環境保健所
- 内容 講演会「潰瘍性大腸炎とクローン病の日常生活のアドバイス」講師 野村幸治・のむら内科胃腸科医院院長、個別相談(予約制)
- 対象 潰瘍性大腸炎とクローン病の患者とその家族
- 申し込み 12月10日(金)までに、山口環境保健所(☎22-5111)へ

痴呆性老人を支える家族の集い

- 日時・場所 12月10日(金)午後1時30分～3時30分・山口環境保健所
- 内容 講話「痴呆とは」…講師 兼行浩史・仁保病院医師、座談会
- 対象 痴呆性老人を在宅で介護している人
- 申し込み 予約制：山口環境保健所精神保健班(☎22-5111)へ



交通安全教室(中央幼稚園)

年末年始の交通事故防止運動

- 運動の期間 12月10日(金)～平成6年1月3日(月)
- 運動のスローガン 防長路 無事故でつなごう ゆく年 くる年
- 運動の重点 ①無謀運転の防止 ②「スピードダウン運動」の徹底 ③シートベルトの着用の徹底 ④歩行者、自転車利用者の交通事故防止
- ※道路を利用する全ての方が交通ルールとマナーを守って、無事故で新しい年を迎えましょう。
- ★放置自動車防止にご協力ください。放置自動車は、景観上、また、違法駐車以上に市民生活に悪影響を与えます。自己所有の車が不要となった場合は、最寄りの販売店か市生活環境課にご相談ください。

催し物のお知らせ

山口県障害者希望芸術文化展

- 期間 12月5日(日)～10日(金)
- 時間 <5日> 午前10時～午後5時、<6日～9日> 午前9時～午後5時、<10日> 午前9時～正午
- 場所 山口県社会福祉会館
- 内容 障害者の方が製作された絵画・写真・書道等の作品展示
- 問い合わせ 県身体障害者社会参加促進センター(☎28-5432)へ

ムーンライト・クリスマス

- 期日 12月19日(日)
- 時間 午後2時～9時
- 場所 県資料館(山口県庁前)
- 内容 《昼の部》…ハンドベル演奏会、謝肉祭をテーマにしたミニ音楽会、ジュニア・ファッションショー 《夜の部》…FMラジオ公開録音、鹿鳴館スタイルのダンスパーティー、クリスマス・パーティー
- 問い合わせ 山口県管財課庁舎管理係(☎33-2210)へ

山口女子大学演劇部冬公演 「悪魔のいるクリスマス」

- 期日 12月18日(土)・19日(日)
- 時間 両日とも、午後4時開場、午後4時30分開演
- 場所 山口県視聴覚センターレクチャールーム(約300人収容)
- 内容 クリスマスにふさわしく、見てくださった方が温かい気持ちになれるようなお芝居
- 入場料 無料
- 問い合わせ 女子大演劇部員(山口女子大学榎水寮☎28-0016)へ

NHK海外たすけあい あなたのやさしさを

NHKと日本赤十字社では、海外の恵まれない人々に援助の手を差しのべるため、「NHK海外たすけあい」キャンペーンを12月1日から25日の間実施します。募金目標額を10億円とし、アジア、中東、アフリカ、中南米地域を重点とする救援事業に役立てることにしていますので、皆さんのご協力をお願いします。 ※義援金の受付窓口は、郵便局、取り扱い標示のある金融機関、農業協同組合、漁業協同組合、NHK各放送局、日本赤十字社山口県支部および関係施設です。

募集コーナー

'94 PEPSI CUP 第11回山口県綱引選手権大会

- 期日 平成6年1月9日(日)
- 時間 午前9時～午後5時
- 場所 県スポーツ文化センター
- チーム編成 監督1人、コーチ1人、選手8人、交替選手2人
- 参加料 1チーム 5,000円
- 申し込み 12月6日(月)までに、所定の申込書で、山口県綱引連盟事務局(小郡町山手下 小郡町公民館内☎08397-3-0638)へ

12月の休日当番医	外科系		内科系		外科系		内科系			
	診療時間	連絡先	診療時間	連絡先	診療時間	連絡先	診療時間	連絡先		
5	瀬上整形外科	山口22-6644	縄田医院	山口22-0149	小川整形外科	小郡 2-2887	小橋クリニック	小郡 3-5000	徳田医院	山口89-2512
12	丘病院	山口25-1100	田原小児科	山口22-3207	村田外科	小郡 2-7100	山岸内科	小郡 2-2788	同仁病院	宇部65-2130
19	佐々木外科病院	山口23-8811	城島小児科	山口22-3235	同仁病院	宇部65-2130	田辺内科	小郡 3-3778	同仁病院	宇部65-2130
23	林外科	山口22-0139	美澄内科	山口22-2285	三隅外科	小郡 2-1003	浜本小児科	小郡 3-0616	同仁病院	宇部65-2130
26	柴田病院	山口27-2800	本永内科	山口25-7001	小林外科	小郡 3-1515	河端内科	小郡 2-3820	田村内科	山口89-4749
29					林病院	小郡 2-0411	池田医院	小郡 2-1002	小野医院	秋穂 2353
30	小田整形外科	山口24-8792	尼崎内科	山口22-1771	吉武医院	秋穂 2330	林病院	小郡 2-0411	同仁病院	宇部65-2130
31	奥山整形外科	山口23-0022	藤原内科	山口23-5517	相川医院	山口86-2177	浜本小児科	小郡 3-0616	徳田医院	山口89-2512

■休日夜間急病診療所(糸米二丁目6-6 ☎25-2266) <内科・小児科> 毎日午後7時～10時 <外科> 土曜・日曜・年末年始、8月15日午後7時～10時 <歯科> 日曜・祝日、年末年始、8月14日～16日午前9時～午後3時 ■休日当番医テレホンサービス ☎23-5000

吉南医師会 土曜夜間在宅当番医 診療時間19時～22時	12月4日		12月11日		12月18日		12月25日		
	内科系	上郷医院	小郡 2-0916	山岸内科	小郡 2-2788	浜本小児科	小郡 3-0616	藤井医院	山口 87-2002
	外科系	共立病院	宇部 65-2200	嘉村外科	小郡 2-2513	小林外科	小郡 3-1515	同仁病院	宇部 65-2130

■平日夜間の在宅当番医の問い合わせは☎22-1470(消防本部)へ